

2023年8月9日
日本郵便株式会社

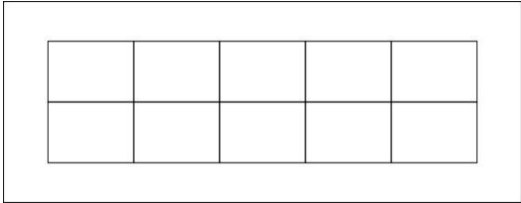
特殊切手「国際文通週間にちなむ郵便切手」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 千田 哲也）は、世界の人々が文通によって文化の交流に努め、世界平和に貢献することを目的として、特殊切手「国際文通週間にちなむ郵便切手」を発行します。

昨年度までは、国際郵便にお使いいただくため、5種類の料額（7円、70円、90円、110円および130円）の切手を発行していましたが、今年度は、2023年10月1日（日）の国際郵便料金の改定に合わせて、1種類の料額（160円）の切手を発行します。

160円は、国際郵便において、日本から新第5地帯宛ての航空扱いの書状（定形）の最低料金となります。このほかの、日本から新第5地帯以外の各地帯宛ての航空扱いの書状（定形）の最低料金（新第2地帯宛てまで120円、新第4地帯宛てまで140円）および日本から世界各国宛ての郵便はがきの航空扱いの料金（100円）については、それぞれ普通切手をご用意しております。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	国際文通週間にちなむ郵便切手	
発 行 日	2023年10月6日（金）	
種 類	160円郵便切手	
切 手 画 像	別紙のとおり	
意 匠	かつしかほくさい 葛飾北斎画 富嶽三十六景・相州梅沢左 <small>そうしゅうめざわのひだり</small>	
シ ー ト 構 成	1シート10枚（縦2枚×横5枚）	
売 価	1シート 1,600円	
小切・印面寸法	縦28.0mm×横38.5mm	
シ ー ト 寸 法	縦93.5mm×横222.5mm	
切手デザイン	玉木 明（切手デザイナー）	
版 式 刷 色	グラビア5色	
発 行 枚 数	200万枚（20万シート）	
販 売 場 所	・全国の郵便局など ^{（注1）} ・「郵便局のネットショップ」 ^{（注2）} ・銀座郵便局での通常払込みによる通信販売	

2 国際文通週間について

「国際文通週間」は、1957（昭和 32）年の第 14 回万国郵便大会議において、世界の人々が文通によって文化の交流に努め、世界平和に貢献しようという趣旨で設定されたキャンペーンであり、期間は万国郵便連合創設記念日である 10 月 9 日から 10 月 15 日までの 1 週間です。

日本では、その一環として、「国際文通週間にちなむ郵便切手」を 1958（昭和 33）年以降、毎年発行しています。

3 発行する郵便切手のデザイン

「富嶽三十六景」は、葛飾北斎（1760～1849 年）の代表作というばかりではなく、日本の風景画を代表する作品として世界に知られています。北斎は、シリーズ 46 枚に、さまざまな富士山の表情を描き分けました。

今回はその中から、「相州梅沢左」を取り上げています（東京国立博物館所蔵/Image: TNM Image Archives）。

4 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

（注 1）一部の郵便局においては、お取り寄せとなる場合があります。

売り切れる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

（注 2）「郵便局のネットショップ」への掲載は、2023 年 10 月 6 日（金）の予定です。

以 上

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-23-28-86（フリーダイヤル）

携帯電話から 0570-046-666（有料）

<受付時間 平日 8：00～21：00

土・日・休日 9：00～21：00>